

2017年A B A C第3回トロント会議ニュースリリース【仮訳】

トロント

2017年7月28日

A P E Cは、開放性、包摂性およびイノベーションの先導者たるべきである

「開放性、包摂性およびイノベーションを先導するA P E C地域」。それが本年11月にベトナムで開催されるA P E C首脳会議に先立ち、経済界の優先課題に関するA P E C首脳への提言を取りまとめるために今週アジア太平洋の各地からカナダ・オンタリオ州トロントに参集した、経済界のリーダーたちの願いである。

「強固なルールに基づく世界貿易体制と開かれた市場のおかげで、今日人々は過去の世代よりも格段により生活を送ることができている。」と2017年A P E Cビジネス諮問委員会(A B A C : APEC Business Advisory Council) 議長のホアン・ヴァン・ドゥン氏は語った。

「『より開かれ、統合されたA P E C地域』というわれわれの長期ビジョンは、それ自体が最終目的ではない。それは、持続可能で包摂的な地域社会の成長につながるというわれわれの強い信念が駆り立てているものだ。」

ホアン氏は、貿易自由化がこれまで何百万もの人々を貧困から引き上げてきており、さらに今後何百万もの人々の生活を向上させる可能性を持つことを想起させた。「環太平洋パートナーシップ(T P P : Trans Pacific Partnership)、東アジア地域包括的経済連携(R C E P : Regional Comprehensive Economic Partnership)、太平洋同盟(Pacific Alliance)といった野心的な地域貿易協定により、雇用機会が創出され、食料の安定供給が保たれる。それらは、貿易の将来性を確保し、最終的に到達すべきアジア太平洋自由貿易圏(F T A A P : Free Trade Area of the Asia-Pacific) への重要な道筋としての機能を果たす。われわれは今こそF T A A Pの実現に向けて確固たる歩みを進める必要がある。」とホアン氏は述べた。

「世界経済は上向いており、貿易量改善の兆しを含めて回復基調にある。ここで保護主義の易きに流れてしまえば、報復措置、経済停滞、そして人々の苦難という悪循環に陥る危険を冒すことになる。」とホアン氏は加えた。

ホアン氏は、他の要因の方がはるかに大きい可能性があるにもかかわらず、自国・地域における経済的苦境の責任を貿易自由化に押しつけることはあまりに安易であると指摘し、A P E C首脳が貿易自由化を推し進める勇気と決意を持つ必要があるとの認識を示した。

「特に国・地域内の政策は、発展しつつある環境に対して労働者および国・地域が確実に迅

速かつ成功裏に適応できるようにするとともに、経済的利益がより広く配分され得るよう
に策定される必要がある。A B A Cは、こうした課題に集団で対応する方法に関して、数件
の重要な調査を委託している。」とホアン氏は語った。

A B A Cはまた、デジタル経済が人々の生活スタイル、交流方法、ビジネス手法を一変させ
る可能性を秘めていることも認識している。「今後それぞれの職務において、ますます異な
る技能が求められるようになる。そうした技能やデジタル技術の利活用に投資する国・地域
は、新たな機会を最大限に活用するために最も適したポジションを獲得する —— そして
われわれのコミュニティはその利益を得る。われわれは世界的に、プライバシーやデータ保
護といった重要な懸念事項に取り組みつつ、データや情報のフローを含むコネクティビテ
ィの深化を実現するための規制の枠組み整備を着実に進めるべきである。」とホアン氏は力
説した。しかし同時に彼は、デジタル変革が進む中で技術的に進んでいない国・地域が取り
残されるリスクについての警鐘も鳴らした。「A P E Cの他のすべての分野においてそう
であるように、ここにおいても包摂性が試金石とならなければならない。」とホアン氏は述べ
た。

A B A C委員たちは加えて、適切な資本市場の発展、インフラへの投資およびイノベーショ
ンなくして国・地域の成長はありえないことに言及した。A B A Cはこのメッセージを、首
脳に対してとは別に、財務大臣に対して10月に伝達する。「われわれは、零細・中小企業が
貿易に参画し、女性がより多くの経済機会を享受するよう支援することなどをおし、当該
地域の一層の繁栄を追及しなければならない。」と彼は結んだ。